

# バーコード(QRコード\*)の読み取り機能を利用した様々な携帯電話サービス

## 携帯電話のカメラ機能で利用できるバーコード(QRコード)サービス

携帯電話端末の最近の傾向として、外部機能の拡充と、音声・データ・映像など通信の多様化がある。また、情報コンテンツやキャッシュ決済などの既存のサービスとモバイルIT技術を融合させる取組みも行われている。加えて、定額制やパケットパックなど、ユーザーにとって使いやすい料金が多様化したことなどから、リアルに連携した携帯電話のサービスが増えてきた。

中でも、注目されているのが、バーコード(QRコード)の読み取り機能を利用した各種サービスである。

バーコード読み取りは、携帯電話のカメラ機能で利用できる。ユーザーはカメラ機能の活用により、写真を撮るだけで必要な情報を、思い立った時に、面倒なキー操作をすることなく取得できる。

また、バーコードを掲載する側も、バーコードが手軽に作成できて、サイト構成を意識せず提供したい情報を直接提供できる。そのため、提供したい情報へのアクセス率が向上し、訴求効果が期待できる。

バーコードを利用したサービスは、以下のように分類される。

【仲介型】情報雑誌、地図、新聞な

ど、コンテンツを集める仲介業者(出版社等)がお客様との間に介在し、情報提供するサービス。

【直接型】個人がバーコードを直接利用し、個人情報を提供するサービスとして、名刺や講義資料などがある。これに対し、企業が提供するCRM型のサービスは大きく分けて、新聞折込・通販・地方自治体・駅・電車などにおいて、直接お客様に情報を提供するサービスと、懸賞・テーマパーク・飲料売り場など、間接的に情報を提供するサービスがある。

## バーコードサービスの様々な活用事例

携帯電話の進化によるバーコード



図1 ケータイウォーカーマップ

サービスは、現在、様々な場面で利用されている。以下、代表的な活用事例を紹介する。

【地図利用】地図上から、特定のエリアの「ぐるなび」「旅の窓口」などインターネットの情報提供サービスサイトで提供されている店舗・宿泊情報が容易に取得できるサービス。また、情報を提供する企業・店舗側にとっても、地図との連動によりリアルへの誘導が容易になり、エリアに特化したサービス展開に役立つ。

例えば図1は、角川書店が発行している「東京ウォーカー」上で掲載された情報をまとめた小冊子「ケータイウォーカーマップ」の例である。各ページにバーコードが掲載されているので、ユーザーはこのバーコードを携帯電話で読み取ることで、該当エリアごとに駐車場の満席/空席情報、百貨店情報、ホテル・旅館の宿泊情報、利用可能なATM情報、グルメ情報、映画情報等が得られる。

【CRM】リクルートが発行している、若手男性ビジネスマンを対象としたフリーペーパー「R25」では、読者アンケートの申込みに携帯電話が利用できる(図2参照)。携帯電話でバーコードを読み取ることにより、アンケート受付ページにアクセスし

\*「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



図2 「R25」の読者アンケートページで、アンケート内容を入力することができる。また、アンケートを募集する企業側にとっても、読者から直接、情報や要望を収集し、記事掲載に反映することができる。

【行政・地方自治体】茨城県守谷市では、市役所のホームページのURLやバスの時刻表を登録したバーコードを、情報誌「広報もりや」に掲載している。市民はこのバーコードを携帯電話で読み取ることにより時刻表サイトにアクセスできる。このシステムにより時刻表の印刷コストの削減や、情報提供で市の活性化に繋がるといったメリットが得られる(図3参照)。

【名刺情報】名刺にバーコードを印刷し、バーコードを通して個人のサイ



図3 「広報もりや」の情報アクセスページ



図4 バーコードを印刷した名刺

トにリンクするサービス。名刺を受け取った人は、登録に手間がかかる名刺情報について、バーコードを読み取ることで携帯電話の電話帳やPCの名刺管理ソフトなどへ簡単に登録することが可能となる(図4参照)。

この応用例として、シャチハタは、自分だけのオリジナルホームページが作れるスタンプ「stamkey (スタンキー)」を提供している(図5参照)。個人で作成した簡易ホームページにリンクしたバーコードを押印することができる、携帯電話用ストラップ型スタンプである。これを使用すれば、押印したバーコードを通じて、名前、電話番号、メールアドレス、メッセージ、写真等を登録した、自分のホームページアドレスを友人などにすばやく伝えることができる。



図5 stamkey

### 今後の展開

バーコードの簡易性と、今後は映像やFeliCaとの連携等により新たな発展が期待されている。NTTドコモでは「生活・ビジネスに役立つ携帯」として新機種には全てバーコードリーダを標準搭載する予定。情報提供側と要求側を瞬時にリンクさせることにより、お客様に役立つビジネスモデルとして様々な分野に展開しており、市場活性化の起爆剤となる可能性を秘めている。